

GOTO

ISLANDS

1

JANUARY

No.227

ごとう



新年のよあけさし
第24回 JAAごとう農業まつり

ながさき農林業大賞受賞 山口廣行さん
二つの系統は五島の宝物 五島和牛育種組合現地検討会
厳しい状況を皆で乗り越えよう 肉用牛生産振興大会

変面師 京介さん
長崎孔子廟の専属変面師。農業まつり(下五島地区)で二日間にわたり素晴らしいパフォーマンスを繰り広げ、会場の人々に元気を与えてくれました。

新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうござ
います。

組合員ならびに地域の皆様にお
かれましては、健やかに新年をお
迎えることとお慶び申し上げま
す。

日頃よりJAの事業、運営に対
しご支援ご協力を賜り厚くお礼
申し上げます。

昨年は、依然として続く原油や
生産資材価格の高止まりや、異
常気象による作物の不作、子牛価

格の下落・低迷など農業経営に
とって厳しい一年となりました。

このような情勢のなか、食料安
全保障の強化に資するため、四半
世紀ぶりに「食料・農業・農村基
本法」が改正されました。そのな

かでJAは、農業や地域の発展に
重要な役割を果たしていることが
明記されています。また、第三十

回JA全国大会では、組合員や地
域社会へJAの価値を提供するこ
とで、その存在意義を発揮してい

くことを決議致しました。

当JAにおきましても、JAと
しての役割を果たすため「農業者
の所得増大」、「農業生産の拡
大」、「地域の活性化」を柱とし、
行政や民間企業等に協力を頂
き、組合員や地域社会へJAの価
値を提供する様々な取組みを進
めているところであります。

組合員の皆様方が地域農業を
守るために努力されている姿に敬
意を表すと共に、JAごとうも組
合員・地域の皆様方と共に五島農
業の発展に向けて役職員一丸と
なり努力して参ります。

皆様方のご健勝とご多幸を心か
らお祈りするとともに、農協経営
に対しご指導ご協力をお願い申し
上げまして新年のご挨拶とさせて
いただきます。

令和七年 正月

代表理事組合長 家永嘉弘





2024.11/30-12/1

第24回 JAごとう農業まつり

まつりの締めくくり、役員らが神様の食べ物とされる餅をまき、参加者と一緒に神様の恵みを分かち合い、幸運と農業の発展を祈りました。

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしますと共に、本年もJA事業に
なご一層のご理解と協力を賜りま
すようお願い申し上げます

代表理事組合長 家永 嘉弘

代表理事常務 杉本 甚喜

代表理事常務 安田 宏

理事 山本 浩

理事 佐々野勝弥

理事 青山 一美

理事 平 康明

理事 田口 勇

理事 貞方 茂

理事 木戸 光昭

理事 角田 隆章

理事 今里 誠一

理事 山村 徳郎

理事 幹 保孝

理事 本谷 俊行

理事 舛田 好伸

理事 木村 秀和

理事 谷合千鶴子

理事 前田須磨子

代表常勤監事 小賀半四郎

監事 寺脇 政善

監事 四辻 正之

監事 戸村 浩志

監事 阿比留都代美

農業まつり

農業、ごとうの力

11/30・12/1
下五島地区



変面師 京介

2日間にわたり開催された下五島地区の農業まつり。

会場では、農産物の即売をはじめ五島牛・美豚の試食会が行われたほか、電器・農機・自動車の展示会も開かれ、大勢の来場者で賑わいました。

メインステージでは、保育園児の可愛いダンスや小中学生の歌や楽器の演奏などのほか、五島牛をかけた各種ゲームも行われ、大きな拍手と歓声が上がりました。

中でも、五島市出身のシンガーソングライター江頭つとむ氏のミニライブや、変面師京介氏による中国伝統演舞の『変面ショー』が行われると、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。



農産物コンクール表彰式



小学生金管バンド



じゃんけん大会



江頭つとむミニライブ



リングワイヤージャンピングバトル



少年少女合唱団



文化保育園園児の演技



倭寇太鼓



派遣外国人によるダンス



「みんなのよい食」目方でドン!



日本舞踊



倭寇太鼓





第24回

J-Aごとの

12/15
上五島地区

届けよう！五島の

12月15日には上五島地区で農業まつりを開催しました。
急きよ、新魚目体育館に場所を移して開催された今年の農業まつりでしたが、
多くの来場者で会場は大盛り上がり。

有川羽差太鼓の演奏からスタートして夢波濤によるよさこい、新上五島在宅ケアセンターによる龍
踊りなど6つの団体がステージ上でイベントを披露。来場者を大いに沸かせました。
その他会場では、電器の展示会や農産物の即売、外部出展者による物販なども行われました。
プログラムの最後には役員による餅まきが行われ、大盛況のうちに締めくくりとなりました。



ゴーライザーショー



ちびっ子エアロ



ちびっ子エアロ



ちびっ子エアロ



ちびっ子エアロ



高校生ダンスチーム
『IVES』アイブス



上五島よさこい連
『夢波濤』



Aヨーブ即売



餅まき



ピンカード販売



新上五島在宅ケアセンターによる
龍踊り



有川羽差太鼓



農産物コンクール



農業まつり前日、出品された農作物のコンクール審査が行われ入賞者が決定されました。



農産物コンクール審査結果(上地区) **J&Aごとう農業まつり** 農産物コンクール審査結果(下地区)

表彰	部門	品目	支店名	受賞者	部門	品目	支店名	受賞者	
組合長賞	根菜	馬鈴薯	有川	田口昭洋	根菜	かぶ	上五島	田中秀樹	
	根菜	大根	上五島	山村徳郎	葉菜	ねぎ	有川	伊東カズ子	
	加工	ゆでほし大根	上五島	栄吉次	根菜	生姜	上五島	古木洋子	
	根菜	大根	上五島	岩永壽和子	根菜	レンコン	若松	幹保孝	
	加工	漬物	上五島	田中伸子	葉菜	チンゲン菜	若松	笠山ユウ子	
	根菜	馬鈴薯	上五島	田中松治	葉菜	カボチャ	若松	笠山ケイ子	
	奨励賞	根菜	人参	上五島	白水初江	根菜	甘藷	若松	福見保育園
		葉菜	かつお菜	上五島	鉄川廣太	葉菜	ねぎ	若松	松本秀明
		根菜	里芋	上五島	吉田貞雄	加工	黒豆	北魚目	野上清子
		根菜	甘藷	上五島	永田友二郎	根菜	大根	上五島	前田須磨子
根菜		馬鈴薯	上五島	吉田弘司	根菜	つくねいも	北魚目	野上増男	
加工		ぬがきかんころ	若松	西村タケノ					
五島振興局長賞	加工	ぬがきかんころ	若松	西村タケノ					
	町長賞	根菜	甘藷	北魚目	尾上さつき				
		葉菜	キャベツ	上五島	道越佐奈枝				
		果樹	レモン	若松	奥畑イト工				
		加工	ゆず胡椒	有川	戸崎イチ子				
果菜	いんげん	北魚目	浜田みち子						



部門	表彰	品目	支店名	受賞者	部門	表彰	品目	支店名	受賞者
果菜	全農長崎県本部長賞	スナップエンドウ	崎山	中山咲子	葉菜	金賞	ブロッコリー	富江	田原和行
	金賞	中玉トマト	富江	塩塚信夫		銀賞	ブロッコリー	富江	福山哲哉
	銀賞	インゲン	三井楽	萩里三郎		銀賞	ブロッコリー	富江	佐々野長秀
	銀賞	なす	崎山	五島のやあしゅ便		銀賞	高菜	岐宿	野村勇旗
	銀賞	スナップエンドウ	富江	出口金治		銀賞	白菜	崎山	五島のやあしゅ便
	銀賞	かぼちゃ	富江	藤野周一		銅賞	キャベツ	岐宿	川谷功
	銅賞	いちご	富江	野原農園		銅賞	ブロッコリー	富江	山口長弘
	銅賞	スナップエンドウ	崎山	野口孝徳		銅賞	玄米	玉之浦	近藤茂八
	銅賞	中玉トマト	富江	橋本博隆		銀賞	ささげ	岐宿	菊谷一弘
	銅賞	インゲン	三井楽	米山明香		銀賞	もち麦	西部	木戸光良
根菜	五島振興局長賞	甘藷	崎山	(株)道脇農園	銅賞	かき	岐宿	平野万寿美	
	金賞	甘藷	富江	阿野さなえ	五島市長賞	みかん	岐宿	平野万寿美	
	銀賞	甘藷	崎山	山内ファーム	銀賞	バナナ	富江	大山政隆	
	銀賞	生姜	本山	藤田サヨ子	銀賞	花	富江	古賀野忠弘	
	銀賞	大根	本山	團山吉弥	銀賞	レモン	富江	片町美津枝	
	銅賞	甘藷	崎山	道脇大輝					
銅賞	つくね	富江	谷谷千鶴子						
銅賞	エビ芋	岐宿	水浦桂美						



直売所のパーベキュー広場で開かれた五島牛・美豚の試食会



青年部の手作り看板コンクール応募作品(三井楽支部制作)



肉の特売は朝から大行列

J&Aごとう農業まつり

エントリーした39作品の中からご来場いただいた皆さんの投票で選ばれました。



お弁当コンクール



谷谷亜佑子さんの作品

「クレシオンちゃん」が大好きな息子の遠足弁当です。キャラクターの顔をバランスよく作るのが難しかったです。ふたを開けたときの息子の驚き、喜び姿を想像して作りました。(後に空っぽのお弁当箱を見せて『全部食べたヨ』と自慢げでした♪)



中村喜美代さんの作品

両親のために作りました。自家栽培の野菜を使い、食べやすくするため鶏ミンチの肉詰めも煮て柔らかくしました。ルビートマトでソースを作り、野菜を炒めトマトソースを加え、うどんにかかっています。



片山貴弘さんの作品

酢の物が好きで毎日のように食べています。ごま油を少々入れて和えると美味しいですね。



片山寿賀子さんの作品

自分のためのヘルシー弁当です。タンパク質多めのおかずで、ご飯は玄米です。

谷谷千鶴子さんの作品

自分のために作りました。ごはんの型抜きが難れづらくて大変でした。ごはんの形と全体のバランスを意識して作りました。

山田愛子さんの作品

秋の行楽弁当を身近にある食材を使って作りました。パプリカ以外の野菜は、すべて我が家でとれたものです。

お弁当コンクール入賞者

表彰	受賞者
金賞	片山寿賀子
キャラ弁賞	谷谷亜佑子
銀賞	谷谷千鶴子
銀賞	中村喜美代
銅賞	山田愛子
銅賞	片山貴弘
アイデア賞	片山智美
アイデア賞	松田沙蓮
奨励賞	小田夏枝
奨励賞	原美代
奨励賞	入口久美子
努力賞(80歳以上)	濱里知子
努力賞(80歳以上)	藤原マツ工
努力賞(80歳以上)	山田とみ子
努力賞(80歳以上)	中村シツ子
努力賞(80歳以上)	山田八重子
努力賞(男性)	山田篤

令和6年度

「ながさき農林業大賞」

長崎県知事賞 しまの農林業経営部門 (トップファーマー)

地域の特徴を活かした先進的な活動を
展開し、成果を上げている
農林業者・組織等を表彰する
令和6年度『ながさき農林業大賞』の表彰式が
11月16日、サンプリエール長崎(長崎市)
で行われ、五島市野々切町の
山口廣行さんが
長崎県知事賞を受賞しました。



山口廣行さん Hiroyuki Yamaguchi

1954年五島市野々切町生まれ。25才で家業の葉たばこ経営を引き継ぎ、最大で3畝を耕作。その後、50才で野菜に転換。その年は5畝もの高菜を作り、葉たばこ以上の売り上げを見せて周囲を驚かせました。現在は、妻洋子さんとかぼちゃ65畝、高菜2畝、スナップエンドウ20畝を栽培しています。

ながさき農林業大賞に輝いた山口廣行さんと妻 洋子さん
「明日の作業は、あれとこれをやらんばいかんね。二人で毎日続けてきた夕食時の『作戦会議』。ときには2時間を越えることも。今回の受賞は、廣行さんを支え続けてきた洋子さんにとっても大変感慨深いものとなったようです。」

中学校に入学して間もない頃、父親から「お前はどこにもやらん」と言われた廣行さん。驚きと同時に「この親父よ」と、半ば呆れたといっています。

農家の長男として生まれた者は、さも当たり前のように後継者とされた時代。廣行さんも例外ではありませんでした。

中学校を卒業して農業を手伝いながらも人並みに都会への憧れがあった廣行さんは、農閑期になると大阪や愛知県へ出稼ぎに行って家計を支えました。

「ある日、母さんが倒れた。早く帰ってこいと親父から連絡があった。芋を作る時期だなと思いつながら帰ってみると、母親が走って畑から戻って来たんです。やられたと思いましたがね。」

その後も何度となく同じ手口を繰り返す両親を見て、農業を継ぐことを決意。こうして廣行さんの農業人生が始まりました。

25才で引き継いだ葉たばこを50才で野菜に転換。

「当時、本山支店の宮農指導員に相談して、年間の栽培計画を立ててもらいました。いろいろ話し合っただけで高菜にかぼちゃ、そら豆にスナップエンドウでいいこと。この形態は今でも続いています。」

葉たばこ栽培で長年培った経験から、土づくりの重要性を知る廣

行さんは、地力の維持に注力していました。

「高菜は正解でした。とにかく良く出来たんです。高菜で生活できる目途が立ちました。」

自然災害に対する向き合い方も実にポジティブ。台風にも独自に入念な準備をしています。

「せっかく作った野菜や資材をダメにしたくない。支柱のアーチもハウスバンドと、らせん杭で文字に固定すれば暴風にもびくともしません。」

「野菜作りは、自分で給料を決められる。もっと欲しければ面積を増やせばいい。失敗してもほかの作物を作ればいい」と、その魅力を語る廣行さん。

野菜農家として20年の節目の年を迎えて受賞した「ながさき農林業大賞」は、廣行さんに喜びと更なる自信を与えてくれました。

受賞の理由(特徴的な取組)

- ①契約取引品目(かぼちゃ、高菜)を主体とし、安定的な収入を確保している地域の模範的な家族経営を実践している。
- ②令和4年に設立された「ほめられかぼちゃ生産部会」では、きめ細かな栽培管理により「ほめられかぼちゃ」のブランド率が85%(部会平均65%)、2年連続で収量が部会1位となるなど、部会の生産をけん引している。また葉たばこ栽培の経験から取り入れた、かぼちゃの生育初期の保温対策や防風対策技術は部会員が多く視察に訪れるなど、部会全体の安定生産に寄与している。
- ③高い生産技術や模範性から部会の役員を務め、産地の先頭に立ち献身的に活動するとともに農業委員として地域農業の維持発展に寄与している。



系統雌牛の調査をする穴田専務理事

五島和牛育種組合による現地検討会が12月17日、五島家畜市場で開かれ、『かわた』系と『こをまさ』系の系統雌牛と育種牛認定候補牛の調査が行われました。

肉用牛部会員が見守る中、会場には、系統雌牛12頭に続き、育種牛認定候補牛2頭が並べられ、調査員が体形や肉付きなどを確認しながら一頭ずつ調査しました。

全国和牛登録協会の穴田勝

五島和牛育種組合現地検討会 二つの系統は五島の宝物

人専務理事は総評として「当初『かわた』系は、他県の種雄牛が多く交配され体形のバラつきが心配されたが、昔から共進会でも活躍しただけあって、中躯が充実しており胃袋も大きい粗飼料の食い込みも良く効率的に牛肉生産が

可能な、いわゆる肉用牛体形に優れている。『こをまさ』系は、体上線や体の伸びに優れ、骨格もしっかりしており、この特徴を引き継ぐことが大切。認定候補牛は、産肉能力の高さは確認できるが種牛造成にどう活かすか課題」とし、最

後に「今回の『かわた』系、『こをまさ』系を五島の宝物として維持拡大し、県有種雄牛との交配を進めて、よそと違うタイプの牛を揃えることで来年の県共進会や最終的には全国共進会につながっていくことを期待したい」と語りました。

公益社団法人
全国和牛登録協会
穴田勝人専務理事



(株)微生物化学研究所
岡 章生氏



(株)微生物化学研究所
函城悦司氏



肉用牛

肉用牛生産振興大会 厳しい状況を皆で乗り越えよう

育種組合現地検討会のあと午後から、JAごとう肉用牛生産振興大会が同会場で開催され、畜産農家と関係機関が五島農業の柱となる肉用牛の振興と活性化に向けた取り組みを改めて誓い合いました。

表彰式では、今年のせりでも最も高価格な子牛を販売した生産者の雌と去勢それぞれ上位3名に家永組合長から賞状と記念品が贈られました。また、公益財団法人中央畜産会

が主催する全国優良畜産経営管理技術発表会で崎山地区の川崎善一さんの優良賞受賞が紹介され、組合長から賞状が手渡されました。

大会では、(株)微生物化学研究所の函城悦司氏と岡章生氏が「丈夫な子牛をつくるための母牛の飼育管理」、「子牛の呼吸器病の予防対策」と題してそれぞれ講演を行い、皆、真剣に聞き入っていました。

最後に畜産農家を代表し

て、ごとう農協肉用牛部会の野口兼幸部会長から決意表明が宣言されると会場から大きな拍手が送られました。

令和6年度JAごとう 肉用牛生産振興大会表彰

雌子牛高価販売表彰

順位	地区	生産者	せり月	せり価格
1	三井楽	馬場和子	9月	975,000円
2	玉之浦	川上久人	7月	906,000円
3	山内	山本津代子	3月	873,000円

去勢子牛高価販売表彰

順位	地区	生産者	せり月	せり価格
1	久賀	山田久道	3月	953,000円
2	三井楽	吉川久徳	1月	952,000円
3	山内	木戸俊輔	3月	920,000円



野口部会長が決意表明

「関係機関と連携を強化し、子牛販売頭数3800頭を目標に、計画交配による肉質優良子牛の生産と、飼養管理マニュアルを厳守し、購買者のニーズに応える発育良好で市場性の高い子牛の向上に努める」



青年部活動

『えいしんまつり』 育てたそばを打ち皆で味わう 盈進小学校

種まきから刈り取り脱穀まで、青年部員に教わりながら頑張ってきた児童たち。11月28日には恒例の「えいしんまつり」で地元のお年寄りの手ほどきを受けてそば打ちを行いました。



練ったそば粉を手際よく切っていく児童



児童に保護者、地元住民も一緒になっていただきました。



自分たちで作ったそばの味は格別です。

ようやく迎えた収穫 大きく育った芋を手歓声響く 本山小学校



今年の芋植えは6月13日と例年より少し遅めとなった本山小学校では12月5日、ようやく収穫の時を迎え2年生の児童が青年部員の指導を受けながら楽しく芋ほりを行いました。

前日の雨で土が柔らかくなった畑では掘り取りも楽なようすで、次々と出てくる芋に大喜びでした。



女性部活動

おせち料理教室 手づくりのおせちで新年を迎える

女性部の上五島支部では女性部会活動の一環として、料理教室を開催。新年に向けて、家の光に掲載のおせち料理のレシピにオリジナルの品目を加え、皆で楽しく料理を行いました。



出来上がったおせちを前に笑顔で記念写真



手際よく作られていく料理の数々



出来上がった豪華なおせち



『愛のチャリティー歌の祭典』 最優秀パフォーマンス賞

12月8日、福江文化会館で開催された第41回「愛のチャリティー歌の祭典」に今年も有志職員で結成されたJAごとうチームが出演。素晴らしい歌とダンスでJAをアピールした結果、見事に最優秀パフォーマンス賞に輝きました。



開催に向けて業務終了後に集まり練習を重ねてきたというメンバー。本番では、その成果が十分に発揮され、響き渡る歌声とキレのあるダンスで、会場は大いに盛り上がりました。

当日は、市役所や民間の団体が出場して、ホールは大勢の観客で大盛況。主催する福江商工会議所女性会ではチャリティー収益金の一部を五島市の子育て支援に寄付することにしており、住みよいまちづくりのためにもJAごとうは、今後もこの催しに積極的に参加していきます。



富江

岐宿

三井楽

岐宿町産業祭

(旧川原小学校)

12/21



西部支店の精肉の特売も人気。悪天候でも大勢の人が来場

富江

岐宿

三井楽

三井楽産品まつり

(道の駅遣唐使ふるさと館)

12/22



青年部員が野菜とおでんを販売。中でもネギは即完売の大人気となりました。

『五島の産業まつり』

富江・岐宿・三井楽で出店

年末恒例となった『五島の産業まつり』が市内各地で開かれ、多くの来場者で賑わいました。JAごとうでも青年部のメンバーや職員らが温かい食べ物や五島の特産品で来場者を出迎えました。

12/15

とみえ産業市

(富江港緑地公園)

富江

岐宿

三井楽



富江支店がルビートマトや五島三菜を販売。大賑わいとなりました。

マイカー&教育ローンキャンペーン



マイカーローン (保証料込)

年 **1.79%**



教育ローン (保証料込)

年 **1.96%**

©よりぞう

お取扱期間：2025年1月6日（月）～3月31日（月）

キャンペーン金利の適用には、優遇条件を満たしていただく必要があります。
 審査の結果によっては、ローン利用のご希望に添えない場合がございます。
 詳しくは、お近くの支店窓口までお気軽にお問合せください。

インターネットで
 簡単仮申込み



令和六年度第九回理事会

令和六年十二月二十七日(金)開催

次第

1 議案事項

- 議案 No. 1 固定資産の取得について
- 議案 No. 2 出資金の減口について
- 議案 No. 3 旅費規程の一部変更(案)について
- 議案事項 その他

2 報告事項

- 報告 No. 1 主な事業経過と行事予定について
- 報告 No. 2 主要事業11月末計画と実績について
- 報告 No. 3 産直市場「五島がうまい」11月末実績について
- 報告 No. 4 令和6年11月末食肉販売実績について
- 報告 No. 5 令和6年11月～12月県内家畜市場市況について
- 報告 No. 6 令和6年度農業まつり合同展示会の実績について
- 報告 No. 7 第24回JAごとう農業まつりの結果について
- 報告 No. 8 令和6年度第1回・第2回リスク管理委員会の結果について
- 報告 No. 9 令和6年度末決算見込みについて
- 報告 No. 10 固定資産の入札結果について
- 報告 No. 11 令和6年度第2回債権管理委員会の結果について
- 報告 No. 12 第2回若松地区総代説明会の結果について
- 報告事項 その他

JA ごとう

電器・自動車三二展示会



開催日

令和7年 2月 22日(土) / 23日(日)



場所

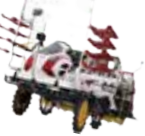
JA ごとう本店特設会場



JAグループ長崎

令和6年度

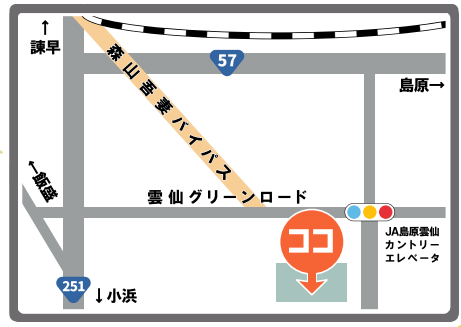
JA 統一農業機械大展示会



開催日

令和7年 1月 25日(土) / 26日(日)
25日(午前10時~午後4時) 26日(午前10時~午後3時)

場所 全農長崎県本部県南畜産事業所 (雲仙市吾妻町)



施設作業員募集

作業場所	作業期間
育苗センター	3月~11月
アスパラ選果場	3月~10月
ブロッコリー選果場	12月~5月
高菜加工施設	12月~3月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを
社会保険労務士へ相談してみませんか?
開催日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)
開催時間 1)09:00~09:50 2)09:50~10:40
3)10:40~11:30 4)11:30~12:20

※相談にあたっては事前のお申込みが必要です。
詳細は本店金融部までお問合せ下さい
☎0959-72-6212



奇場 浄倫会館
誠意と真心でご奉仕いたします
事前のご相談も承ります

株式会社 JA ごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場
五島がうまい

住所: 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1
電話: 0959-88-9933 FAX: 0959-88-9922
営業時間: 9時~18時30分
9時~19時 (7・8月)

※農家レストランは10時30分~14時(予約については別途)
休業日: 棚卸日(9/末、3/末) 年始(1/1・2・3)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もJA ごとうをどうぞよろしくお願い致します。
私が初めて担当した2022年1月号から今号で3年が経ちます。36冊目の広報誌を作成できて、様々な体験をさせて頂きました。苦労ももちろんありますが、いい思い出もたくさんさせて頂きました。夕方のニュースに出た際には、自分の訛り具合に驚いたということもありました。今後もJA ごとうの情報を皆さまにお伝えするために東奔西走頑張ってまいりますので、JA ごとうの広報誌をどうぞよろしくお願い致します。
(長瀧 俊一)

JA ごとう農業協同組合

●JA ごとうNo.227 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。